

生活  
けいぞい

月 学ぶ

火 食べる

水 マナー

木 生き生き

金 遊ぶ

# 現場レポート

小規模多機能型居宅介護

## 日の出

(伊勢崎市境伊与久)

伊勢崎市の東部、県道前橋館林線の流通団地入り口交差点から南に約1キロ下ると、市道沿いに平屋建ての細長い建物が見えてくる。運営するのは、同市日乃出町の運送会社、アラックス。同社の新井一夫会長が「地元のお年寄りが安心して、

これからの住み慣れた地域で暮らせるように」と、介護事業を始めた。施設名には「人生の第2幕の始まり」「明るい介護」との意味が込められている。現在は要支援1から要介護5まで、60代から90代の10人ほどが利用している。

# くつろぐ畳の浴室



職員と一緒に洗濯物をたたむ利用者。手を動かしながら笑い声が飛び交う

施設長の生形航さん(35)が最初に案内してくれたのが、いち押しという畳敷きの浴室。利用者の人気が高く、座って体を洗う人や、寝そべってくつろぐ人もいるほど。「タイルは足元から冷え込んでしまいます。畳なら冷たさがない上、滑りにくく転倒防止にもなります」と説明する。見た目の驚きだけでなく、利用者の安全を考えた配慮がある。

では、数人の利用者が集まり、職員と一緒に洗濯物をたたんでいた。笑い声が響き、和気あいあいとした空気に包まれていた。

望を献立に取り入れることが多い。利用料金(自己負担額は月額定額制で、

要支援1の4545円から要介護5の2万8598円。食費は1食当たり350~500円、宿泊した場合は1泊1500円が必要となる。利用者は伊勢崎市内の人に限定が、まだ定員に余裕があり、随時見学や体験利用を受け付けている。

【メモ】▽運営主体 アラックス(高橋政幸社長)▽開設 2012年▽定員 25人▽☎0270・76・5230



利用者に好評の畳敷きの浴室。窓の外には庭園が見える

## 白慢です



長沢深幸管理者

少人数ならではのきめ細かいサービスを心掛けている。利用者から「楽しかった」「気持ちよかったです」と言ってもらえるサービスを、対目指し、対話を重視し

## 信頼関係に重点

ている。利用者の言葉にならない思いを感じ取るよう、信頼関係を大切にしている。同じ地域で暮らす職員が多いため、地元の話題に花が咲くことも多い。地域の祭りやイベントに職員と一緒に参加するなど、利用者にとってなじみ深い地域行事に参加する機会をつくっている。

ら、ふんだんに明かりを取り入れたリビング。食堂経営者が腕をふるう食事も、利用者の要

要支援1の4545円から要介護5の2万8598円。食費は1食